



地元食材をアピール

「食まつり・畜産共進会」と「水産まつり」開かれる

農業や畜産業、漁業が盛んな南あわじ市では、その魅力を多くの人に知ってもらおうと、「食まつり・畜産共進会」（九月二十九日・三十日、淡路島牧場）と「水産まつり」（十月六日、丸山漁港魚彩館）を開催しました。

自慢の魚介類、海産物

「水産まつり」では、市内の漁協が自慢の海産物を持ち寄り、振舞いや販売が行われ、約七百人が訪れました。丸山漁協からはタイめしとタコめし、焼きアナゴ、湊漁

協からはアジ、タチウオ等の天ぷら、南淡漁協からはタコ天、福良漁協はてつき、特別出店の但馬漁協からはカニ雑

炊が振舞われ、多くの方が舌鼓をうっていました。また、豊漁祈願を兼ね神事と式典の後、ヒラメとマダイの稚魚合わせて約千六百匹の放流と、もちまきも行われました。

自慢の野菜、ビーフ、乳製品

「食まつり・畜産共進会」では、各家庭や牧場で飼育されている和牛と乳牛の肉付きや体格などを競い合う畜産共進会をメインに、淡路ビーフや牛乳の振舞い、野菜や花、乳製品等の販売コーナー、農業共済と農業改良についてのPRコーナーなど盛りだくさんに行われ、二日間で延べ一万三千人が訪れました。（13頁に畜産共進会結果を掲載）



▲焼きアナゴの振舞い（水産まつり）



▲畜産共進会、乳牛の部

年金だより

平成19年の社会保険料（国民年金保険料）

控除証明書を送付します

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税等の社会保険料控除の対象となります。年末調整や確定申告で、控除の適用を受けるには、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」または「領収書の添付が必要です。社会保険庁では、一年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を郵送でお届けしますので、申告を行うまで大切に保管してください。

家族分も控除対象

世帯主または配偶者としてご家族の国民年金保険料を納付したときは、その全額が納付者の控除対象となります。ご自身の額と合算し、ご家族の証明書も添付して申告してください。

〆 〇 7 8 ・ 9 1 2 ・ 4 9 1 6
〆 〇 7 8 ・ 9 1 2 ・ 4 9 1 6
〆 〇 7 8 ・ 9 1 2 ・ 4 9 1 6

年金相談

▽日時 12月7日（金）午前11時～午後3時
▽場所 南淡公民館
※必ずご予約ください
▽申込み 市民課 ☎ 43・5023

送付スケジュール

◆19年1月1日から同年10月1日までの間に納付実績のある方
▽証明日 19年10月2日
▽送付時期 19年11月上旬
◆19年10月2日から19年12月31日までの間に本年初めて国民年金保険料を納付

暴力や犯罪のない安全安心なまちへ

市民大会ひろく



▲アトラクションでは、南あわじ市消費者協会による悪徳商法の紹介を寸劇で披露

十月十三日、「暴力追放・安全安心まちづくり市民大会」（南あわじ防犯協会等主催）が西淡公民館で開かれ、約二百五十人が参加しました。大会では、安全で安心に暮らせるまち実現のため、実践目標「声をかけあう、進んでカギかけをする」が大会宣言されました。また、日頃から熱心に活動された次の方が表彰されました。（敬称略）

- ▽全国防犯協会連合会防犯栄誉銀章 橋本正彦（福良）
- ▽近畿防犯協会連絡協議会 北井倉夫（福良）
- ▽全国防犯協会連合会防犯栄誉銅章 寺岡博（福良）
- ▽兵庫県防犯協会連合会 谷池弘士（津井）、波戸崎久（福良）
- ▽南あわじ防犯協会 山口弘光（湊）、宮本卓（伊加利）、榎本清一郎（市）、山下光子（志知）、森本吉郎（福良）
- ◆市民の警察官「ゆづるは賞」 岩井完二、上村秋裕

市内初の「国登録有形文化財」に

田中家住宅主屋

文化庁は、九月二十一日、田中幹也さん（賀集立川瀬）の住宅家屋を国登録有形文化財（建造物）に選定しました。この文化財への登録は、南あわじ市から初となります。田中家住宅は明治十四年に建てられ、大正十一年と昭和初期に増築。中廊下式の間取りで、茶室なども設ける繊細な造りの数寄屋風住宅です。国が行う文化財の「登録」制度は、規制の厳しい「指定」制度に対して、緩やかな規制

で文化財を守ろうと平成八年から始まった制度です。田中幹也さんは、「規制が緩いとはいえ、責任を感じています。この家が若い建築家の教材となり、学んでいたければ光栄です」と話していました。今回の選定には、歴史文化遺産の活用・保存を推進している「ひょうごこへりテージ機構H20淡路」が調査と申請書の作成を行い、市教育委員会を通じて申請されました。



▲国登録有形文化財の選定を受けた田中家

出前行政で市民の期待を再認識

南あわじ市長 中田勝久

合併後初めての試みとして、五月から八月にかけて、自治会のご協力により行政懇談会を実施いたしました。出前行政として位置づけ、市四役・全部長十五名が、小学校区等を単位とした二十一地区を訪問し、市の施策や財政状況の報告を行うと共に、市民の声を直接お伺いいたしました。低地対策や道路整備など、地域の切実な課題や生活に密着した事柄について、行政への期待を改めて認識いたしました。

少子対策の根拠は、働く場の確保です。昨年より専属の担当職員を置き、大きな期待を寄せておりました企業誘致につきましては、三洋エナジー南淡様の事業拡大に伴い、企業団地に進出していただくことになりました。約百二十名の雇用が見込まれます。また、マルシヨウ運輸様にも事業拡張のため、土地を購入していただきます。心より厚く感謝申し上げます。

合併後、財政難の折、「選択と集中」を旨として、市民の皆様のご理解をいただきながら、拝聴したご意見を真摯に受け止め、努力してまいります。併せて、財政の縮小だけでなく市政を停滞させないため